

日本語で歌う「第九」 2010 歓喜の歌



2010年 12月 19日(日)  
鎌倉芸術館 大ホール  
午後 3 時開演 (午後 2 時 30 分開場)

主催：鎌倉市芸術館指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

P.I. チャイコフスキー  
Peter Il'yich Tchaikovsky

歌劇「エフゲニー・オネーギン」より“ポロネーズ”  
“Polonaise” from Eugene Onegin

L.v. ベートーヴェン  
Ludwig van Beethoven

交響曲第9番 二短調 Op.125 「合唱付」  
(なかにし礼 日本語詩版)

Symphony No.9 in d minor, op.125 “Choral”

- I. *Allegro ma non troppo, un poco maestoso*  
II. *Molto vivace*  
III. *Adagio molto e cantabile*  
IV. *Presto*

※本日の公演には休憩がございません。あらかじめご了承ください。

鎌倉芸術館開館以来、姉妹都市交流の一環として山口県萩市より、また、日本語の第九公演を22年にわたり開催している三重県東員町からも、この『日本語で歌う「第九」2010 歓喜の歌』公演に合唱団の一員としてご参加いただいております。

## 歓喜に寄す

原詩：フリードリッヒ・フォン・シラー

日本語詩：なかにし礼

わが友よ 歌うなら  
もっと 快い歌を歌おう  
歓びにみちた 歌を

愛 愛  
愛こそ歓喜にみちびく光  
さえぎる苦難を越えて進まん  
歓喜の頂き踏みしめた時  
我らは兄弟世界は一つ

気高き乙女をかち得たものよ  
手を取り歓喜の叫びをあげよ  
人間一人で何が出来よう  
愛なき孤独の人は立ち去れ

生あるものみな分けへだてなく  
自然の乳房に抱かれて生きる  
幼き子供も罪ある人も  
集い歌わん 歓喜の歌を  
歓喜の歌を 歌を  
歌 歌

行け 行け  
胸をはずませ 雄々しく  
空ゆく太陽の  
歩みのように

いざ進め友よ  
いざ進め友よ  
勝利におもむく  
勇士のように  
進め 進め  
勇士のように

くちづけ  
接吻交わさん  
世界の同志よ  
父は住み給う  
星空かなたに  
父は住み給う  
星空かなたに

地にふし あがめん  
父なる神  
あゝ 星空かなた  
神は天にあり  
神は天にあり

愛こそ歓喜にみちびく光  
母なる歓喜  
歓喜は世界の母なり



### 家田 厚志 (指揮)

1955年2月神戸生まれ。大阪、追手門学院大学心理学科（音響心理学専攻）卒業という異色の経歴を持つ。音響心理学を加藤徹、打楽器を百瀬和紀、指揮を山岡重信、各氏に師事。その後渡欧。1980年より、二期会、ステファノ・オペラ劇場などの指揮者として活動を開始。1988年4月劇団四季において大きな話題を呼んだミュージカル「オペラ座の怪人」の日本初演を指揮、劇的な成功を収める。以来、新星日本交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック、群馬交響楽団、ニューフィルハーモニー千葉、九州交響楽団、N響団友オーケストラ等を指揮して個性的な名演を数多く生み、常に話題を呼んできた。海外においても台湾の台北首都歌劇団、ウクライナ国立歌劇場管弦楽団を指揮。また中国における戦後初の外国人常任指揮者として1994年から1996年まで上海放送交響楽団常任指揮者、引き続き2004年まで同団指揮者を務め、同団の実力・地位を飛躍的に向上させた。2000年から2007年まで東邦音楽大学特任教授。さらにラジオ大阪「家田厚志のタクトでバトル!」DJ、フジテレビ「トリビアの泉」、TVコマーシャル「セガミ薬局の靈芝エスモン」等でも活躍。大胆かつ繊細な音楽性と、クラシック音楽のイメージを覆す強烈に明るいキャラクターで人気を集めている。現在、フィルハーモニア東京指揮者。



### 亀田 眞由美 (ソプラノ)

東京藝術大学別科修了後、洗足学園音楽大学卒業。オペラ「魔笛」の夜の女王でデビュー、以来二期会、日生劇場公演をはじめ多くの公演に出演している。他のオペラでは、「後宮からの逃走」のコンスタンツェ、「ポントの王ミトリダーテ」のアスパー

ジャ、「劇場支配人」のヘルツ夫人、「シンデレラ」(マスネ)の妖精の女王、「オルフェオとアウリディーチェ」のエウリディーチェ、「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル、「金閣寺」(日本初演)の母親等を歌っている。1988年より、ローマ・モスクワ・ブエノスアイレス・ケルン・ベオグラード・ロンドン・ウルグアイ・サンパウロ・ウィーン等でリサイタルやコンサートに出演し、日本歌曲の紹介にも取り組んだ。特にサンパウロでの2回のリサイタルは大好評であった。また、「第九」や「メサイア」「レクイエム」等宗教曲のソリストの他、ヴィラ=ロボス「ブラジル風バッハ」等オーケストラとも共演している。新作を手がけたものをはじめ、リサイタルも数多く重ねると共に、日本歌曲の分野にも意欲的に取り組むなど、幅広い演奏活動を続けている。洗足学園音楽大学講師、二期会会員。鎌倉音楽クラブ会員。



### 榎本 まき子 (アルト)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。戸田敏子、田中伸枝、児島百代の各氏に師事。NHK 洋楽オーディションに合格し、ブラームスの歌曲で出演する。コンサートでは、バッハ「ヨハネ受難曲」「マニフィカート」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ベルゴレージ「スタバド・マーテル」、ヴィヴァルディ「グローリア」等

の宗教曲や、「第九」のアルトとして活躍している。オペラは「リゴレット」のジョヴァンナでデビュー。「フィガロの結婚」のマルチェリーナ、「魔笛」の侍女、「コシ・ファン・トゥッテ」のドラベッラ、「アルバート・ヘリング」の母親などを演じている。昭和音楽大学、アブリ・カルチャーセンター講師、横浜シティオペラ、鎌倉音楽クラブ会員。



### 鎌倉交響楽団

鎌倉市民によるアマチュア管弦楽団として1963年に発足、2012年には創立50周年を迎える。団員は幅広い年齢層と様々な職業から構成され、現在その数は120人を超える。

春と秋の定期演奏会、ファミリーコンサート、鎌倉市の幼稚園協会による園児のための演奏会、年2回の室内楽演奏会などを基本活動とし、演奏曲はクラシックの古典から、近現代の基本的な作品まで多岐に渡る。創立45周年を迎えた2007年11月には、戸塚混声合唱団との協力のもと、ホルンの大曲「カルミナ・ブラーナ」を演奏、好評を博した。

地元を代表する楽団として何度も第九演奏を行う一方、活動の場は市外にも及び、1999年、2006年、2009年には、姉妹都市である鎌倉・萩両市で第九演奏会に出演。特に2009年、萩市民館大ホールで開催された「鎌倉市・萩市姉妹都市提携30周年記念第九演奏会」では、第九の魅力をあますところなく伝える演奏が大きな喝采を浴びた。市の音楽文化の牽引役として、今後ますますの発展が期待されている。



### 小林 彰英 (テノール)

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所第6期生修了。森明彦、三林輝夫、故・疋田生次郎、故・山路芳久、カルロ・メリチャーニ諸氏に師事。

第16回イタリア声楽コンクール・テノール特賞受賞。文化庁芸術家在外研修員としてイタリアに留学。在伊中、第8回エル

コラーノ国際声楽コンクールで第2位入賞。オペラでは、二期会「メリー・ウィドウ」のカミーユ、「チエネレントラ」のドン・ラミーロ、「こうもり」のアルフレード、東急 Bunkamura「魔笛」のタミーノほか、「ナクソス島のアリアドネ」のブリゲッラ、「ペアトリスとベネディクト」のベネディクト、「オーリー伯爵」のオーリー、「セビリアの理髪師」のアルマヴィヴァ等を歌っている。またコンサートでは、N響定期でラヴェル「子供と呪文」、都響定期でハイドン「四季」、東響400回記念演奏会でシェーンベルグ「モーゼとアロン」、日フィルでプリテン「セレナード」に出演。その他、「メサイア」、「第九」等の演奏会で多くの主要オーケストラにソリストとして出演。2005年3月韓国・高陽市星沙劇場、8月イタリア・スポレート市カイオ・メリッツ劇場にて「曽根崎心中」徳兵衛で出演。現在、東京音楽大学で講師を務める。東京室内歌劇場会員。二期会会員。



### 太田 直樹 (バリトン)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。シュトゥットガルト音楽大学修了。オペラ研修所第八期修了。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場などのオペラ公演に多数出演。読売日本交響楽団特別演奏会、オーケストラ・アンサンブル金沢定期演奏会、草津夏期国際音楽祭、演連コンサート、ヴォルフ

歌曲全曲演奏会シリーズなどをはじめ、ドイツ歌曲を中心としたコンサートやリサイタル、さらにバッハ、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、フォーレ、ブラームスなどの合唱曲のソロを多くつとめる。近年では2006年スクロヴァチェフスキ指揮ザールブリュッケン放送管弦楽団「第九」、2007年東京室内歌劇場「アルチーナ」、ロジェストヴェンスキ指揮読売日本交響楽団「イオランタ」、「サントリーホルの第九」、2008年東京室内歌劇場「夜長姫と耳男」、横浜シティオペラ「魔笛」、2009年あらかわバイロイト「バルジファル」、まつもと市民オペラ「椿姫」、2010年「冬の旅」全曲リサイタル、東京室内歌劇場「カリスト」などに出演するほか、東京、埼玉、松本、岡山などでリサイタルを行っている。国立音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、都立芸術高校非常勤講師。二期会会員。東京室内歌劇場会員。まつもと市民オペラプロデューサー。



### 日本語で歌う「第九」2010 合唱団

総勢251名が参加。8月29日より20回の練習を重ねる。姉妹都市・山口県萩市の合唱団より4名、長年日本語の第九公演を続ける三重県東員町の合唱団より9名の賛助出演をいただき、練習の成果を本日披露する。

合唱指揮： 富澤裕、辻端幹彦  
ピアノ伴奏： 星野由実、土方協子、黒岩祐子、江原郷子



# 日本語で歌う「第九」2010 合唱団

各パート五十音表記

## ソプラノ

浅谷 玲子  
島米子  
飯草 姓子  
井井 娃子  
石黒加代子  
伊藤和代  
●伊藤早苗  
○岩村光子  
○上田昌子  
内田美枝  
大橋惠子  
尾崎聿子  
加藤栄理  
加藤朋子  
金森定和子  
河崎貴美子  
川村孝子  
北岡久子  
北澤広子  
紀藤明子  
木村文子  
倉田節子  
栗原深雪  
栗原道江  
小菅俊子  
佐藤順子  
佐藤文子  
清水純子  
清水道生  
東海林寿日子  
○白上和加子  
○杉ひろ子  
杉山亜寿美  
杉山瑞穂  
鈴木祐子

高瀬 節子  
高橋博子  
武田德子  
武田久惠子  
中田洋子  
田辺睦子  
田辺佳子  
都筑朋子  
手塚延枝  
内藤百合子  
永井小佳子  
中村幸洋子  
根本洋子  
野秋知江  
羽田かほる  
菱田美保子  
保月美保子  
本田克子  
増田知子  
増田松枝子  
丸岡晴子  
真室泰子  
水野和子  
光井志穂  
光井光子  
村井留美  
望月和子  
百瀬光子  
森下操  
柳沼英子  
矢島惠子  
柳原京子  
吉岡久惠  
渡辺いつ子

## アルト

荒木みつ枝  
飯嶋三奈子  
池田多嘉子  
石井悠梨子  
石野山永子  
伊勢実穂子  
市川香代子  
市村美知子  
伊東美春子  
植本まゆみ  
内田まゆみ  
近江栄子  
大竹山美子  
大本博子  
大森伸子  
岡田重矢子  
尾造久美子  
興津裕美子  
香椎綾子  
片山昭子  
加藤和代子  
川上信子  
河村桂子  
菊池桂子  
木谷祥子  
木谷典子  
木村房子  
久保田眞砂子  
黒子昭子  
高山京子  
後藤玲子  
小林まき子  
小林陽子  
五味くにか

○齐藤孝子  
○佐伯貴惠子  
佐々木洋子  
佐藤美智子  
澤田ワカ子  
芝崎佳子  
島崎美音子  
清水和子  
白石彩子  
鈴木純子  
●鈴木千代子  
田上和代子  
高山弘子  
武田信子  
田中裕子  
垂木美枝子  
栢植純子  
筒井繁子  
角井幸子  
角井理恵子  
戸川喜久乃  
殿谷智恵子  
長岡道榮子  
中川啓子  
中川史子  
永島栄子  
中島眞理子  
中西佐知子  
中山文子  
新倉文子  
野島明子  
野島雍子  
萩原眞寿美

濱地 靖子  
演 利子  
●半田有見香子  
東峯和彩子  
樋本幸子  
平本啓子  
福田和子  
藤田正子  
布施和美子  
古川道子  
古田智子  
古田眞樹子  
星野和子  
細野仁美子  
堀口由恵子  
舛谷佳子  
松田雪子  
●水野明子  
●水谷京子  
●水谷美佐子  
三富八重子  
村岡武子  
矢崎久美子  
山下博子  
結繩房子  
遊木登志子  
横山佐千子  
横山恵子  
米村恵子  
和久井重子

## テノール

会田政信  
石倉啓三  
市村孝利  
鶴沼伸充  
江口佳孝  
太坂岱樹  
久坂昌男  
小菅勇気  
齊藤文二  
佐藤信生  
佐藤信一郎  
佐野貴一  
島田正邦  
清水宿彦  
高橋正一  
●多儀幸治  
竹田完雄  
筒井康勲  
手塚夫茂  
土居二美  
中山出夫  
西川英淳  
橋本充郎  
早川智夫  
林益二  
廣木義雄  
藤原俊二  
舟橋義二  
益子廣彦  
山田朝彦  
幸川朝彦

## バス

天田雅宏  
荒木隆一  
猪狩満  
石野泉  
妹川稔  
鶴飼文雄  
大沢智忠  
勝田剛文  
金川弘次  
久保秀二  
小池恒洋  
藤藤二  
佐藤一  
進藤舜一郎  
鈴木祥雄  
尾尾英明  
高橋範雄  
田信豊夫  
竹上稀夫  
伊達幹雄  
塚口純正  
渡眞利三郎  
長岡良明  
中野了介  
中野良一  
中村勲  
村岸廣和  
根岸司幸  
日野正綱  
藤井松二  
古田啓達  
細井本三  
真木那子  
御園生金  
宮岡栄一  
矢島友博  
山本茂樹  
鷺田敦

○：鎌倉芸術館開館以来、萩市・鎌倉市の姉妹都市交流として、毎年本第九の合唱に参加いただいている萩市のみなさんです。  
●：日本語の第九公演を22年にわたり開催している三重県東員町のみなさんです。

## 鎌倉交響楽団

### 1st Violins

青木 淑子  
石川 静  
石川 雄太  
大野 孝士  
川西 清美  
五味 俊哉  
白水 千晶  
菅井 直介  
曾根 民子  
田中 穂貴  
馬場 潔子  
本山まり子  
八木 育江

### 2nd Violins

新井 俊成  
石橋 智子  
岩谷かおり  
梅原 哲郎  
小川 穂  
河原 寛  
河原勢津子  
桐本 圭三  
五味 晶子  
佐藤 理洋  
重兼 文恵  
鈴木 涉子  
多田 廣之  
長谷川眞優

### Violas

阿部 明美  
石川 まり  
大貫 歩美  
梶 成彦  
梶原 庸子  
佐々木敬史  
高橋 良子  
高村 俊彦  
中川 孝之  
中村 文江  
中村 恵  
古屋 眞菜  
正木 基身  
水上 清

### Cellos

飯田 達男  
岩本富美雄  
梶 淳子  
重兼 寿夫  
志村 篤子  
鈴木 達広  
中井 良樹  
中川 優子  
中野太一朗  
毛利 史子  
若山 五郎

### Double Basses

大内 達郎  
佐藤 正  
中村 安孝  
廣瀬 澄夫  
福島 晋哉  
矢野 健均  
渡辺 均

### Flutes & Piccolo

瀬島美奈子  
曾根 美樹  
高橋 弘子  
高畑 裕恵

### Oboes

桑野 若菜  
中橋 英純  
山崎 一哉  
山本 賢二

### Clarinets

片山眞知子  
鈴木 美緒  
前沢 実  
望月 俊哉

### Bassoons

富井 一夫  
三浦 隆昭  
三原 一真  
矢吹 紀子

### Horns

芥川 敬  
服部絵里子  
宮崎 敏幸  
山崎 和之  
山田 克彦

### Trumpets

竹内 純子  
津金 勝技  
福地 稔榮

### Trombones

有賀 功  
桜井 貴志  
府川 創作

### Percussions

今城 信彦  
太田 純  
高橋 正彦  
森田 俊之